保管用

施工説明付き

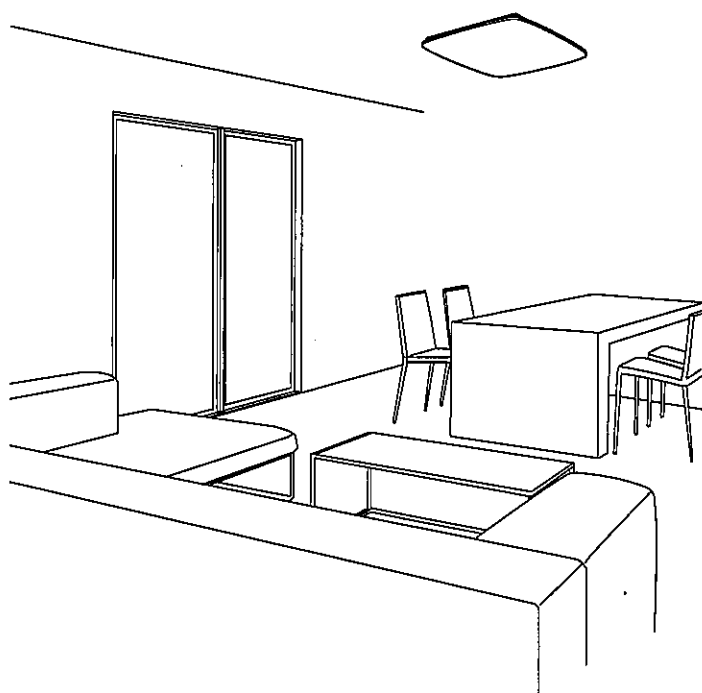
保証書別添付

Panasonic®

取扱説明書

住宅用照明器具
(シーリングライト)

ツインPaシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください

※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2～3ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

□70 形 U - ②

安全上のご注意　（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

■天井

■天井

必ず守る

●必ず上図のような平面部が□780mm以上の天井に取り付ける

落下によるけがのおそれがあります。

●取付金具は補強材のある場所に確実に取り付ける

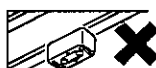
落下によるけがのおそれがあります。

禁止

●凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

船底天井

格子天井

竿縁天井

●55度を超える傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。

◎この器具は天井面取り付け専用です。

■配線器具

禁止

●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

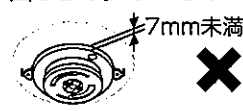
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

がたつき・破損

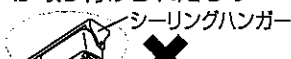
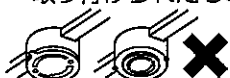
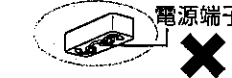
●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

出しろの少ないもの

フル引掛ローゼット

引掛埋込ローゼット
引掛露出ローゼット

斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの

電源端子露出タイプ

■壁スイッチ

必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（取り外しには資格が必要です。）

■その他

分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

⚠注意

必ず守る

●**照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください**

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中) に基づき、自主点検してください。

●**付属の梱包材は取り除いて使用する**

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●**カバーは確実に取り付ける**

落下してけがの原因となることがあります。

接触禁止

●**点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない**

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●**浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない**

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●**温度の高くなるものを器具の真下に置かない**

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

禁止

●**カバーキャッチに無理な力をかけない**

カバーキャッチが変形し、カバーが落下してけがの原因となることがあります。

●**カバーキャッチにカバーを吊り下げたままランプ交換をしない**

カバー落下によるけがの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品　施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

(カバーの形状は品番により異なります)

配線器具

取付金具

本体止めネジ (2本)

リモコン受信器

操作方法は、7・8ページ参照

本体

カバーキャッチ (2カ所)

ソケット

ランプ口金

ランプ支持バネ (2カ所)

LED (常夜灯)

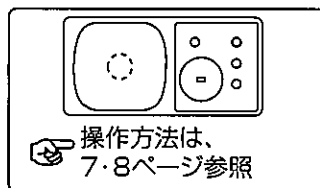
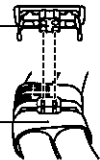
引掛シーリングキャップ

ランプ

70形ツインパルック
プレミア蛍光灯

※固定用テープをゆっくりとはがしてください。

交換方法は、9ページ「ランプの交換方法」参照

※ランプを動かすと音がする場合がありますが、異常ではありません。

HFA6510, HFA6510Nは出荷時本体に取り付けられています。
本体裏面の青テープを引っ張ると本体が取り外せます。

カバー
青テープ
本体裏面

カバー
(低誘虫UVカット仕様)

本体取り付け用付属部品

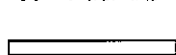
取付金具(1個)
本体止めネジ(2本)

取付金具用木ネジ (2本)

配線器具
角型引掛シーリング
(1個)

引掛シーリング用木ネジ (2本)

●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

パッキン大
(1本)
天井クロス剥がれ防止用

パッキン小
(8本)
天井クロス剥がれ防止用

●使用しない付属部品は大切に保管してください。引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 ☞9ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 下記の準備を行ってください。

角型引掛
シーリング
WG1000

丸型フル引掛
シーリング
WG5005
WG5015

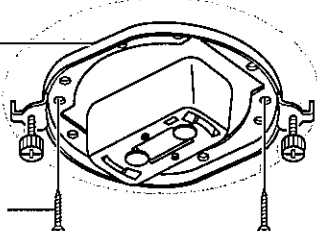
丸型引掛
シーリング
WG4000　WG4420
WG4425　WG1500

フル引掛
ローゼット
WG6005

引掛埋込
ローゼット
WG6000
WG6130
WG6420

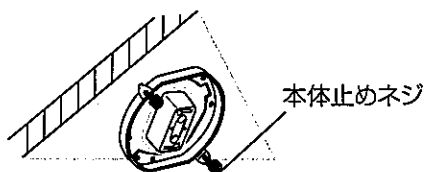
付属の取付金具の取り付けが必要です

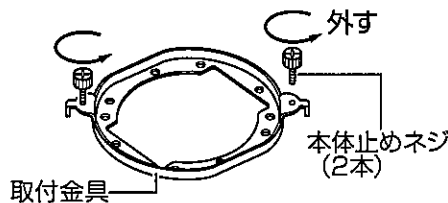
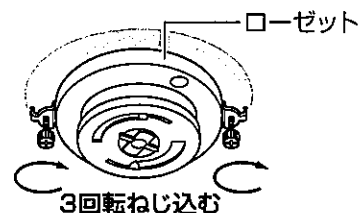
補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取り付ける

⚠警告

取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する

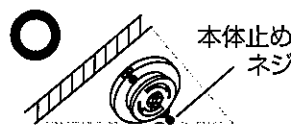
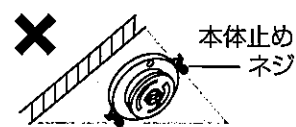
必ず守る　落下してけがのおそれがあります。

傾斜天井 (55度以下) の場合

本体止めネジ方向を必ず傾斜と直角方向に合わせる。

付属の本体止めネジの付け替えが必要です

①取付金具に付いている本体止めネジを外す
(取付金具は使用しません。)

②ローゼットに本体止めネジを仮止めする

傾斜天井 (55度以下) の場合

本体止めネジの方向を確認する。

取り付けできます

取り付けできません

ローゼットの取付方向を変える必要があります。販売店、工事店に依頼してください。

●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具(補修部品:HK956000SU)が必要です。

上記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。

◎販売店､工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。

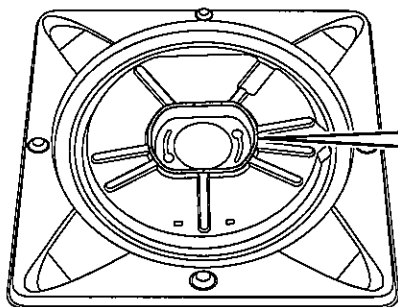
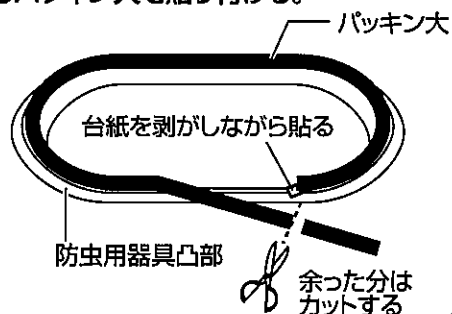
※工事には資格が必要です。

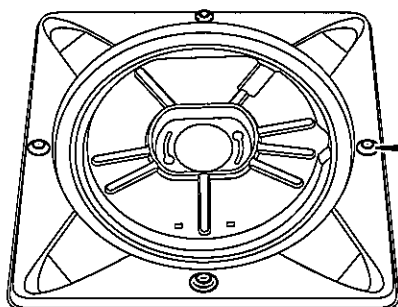
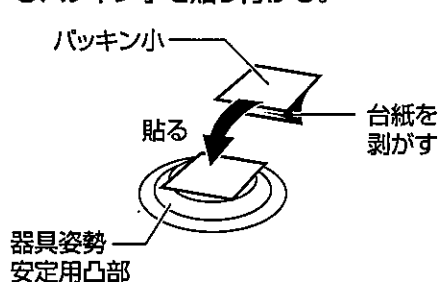
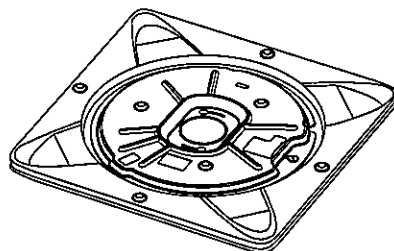
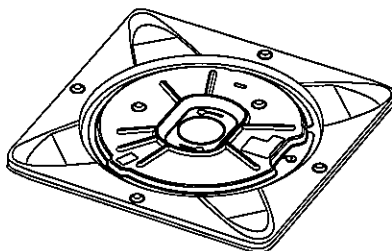
2 天井のクロスを確認して、取り付けの準備をする

（確認）
天井が塩ビクロスまたはオレフィンクロスの場合は
付属のパッキンを貼り付けてください。

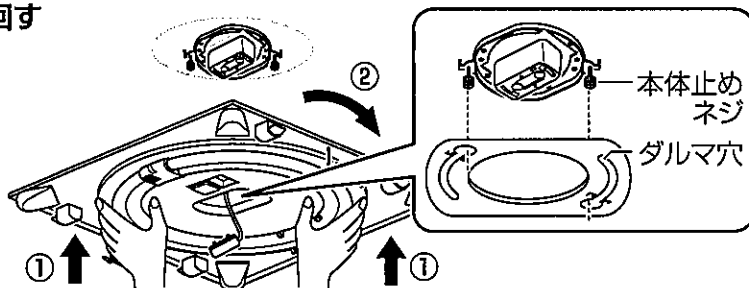
（注意）
左記クロスに本体を取り付ける場合、
必ず付属のパッキンを貼り付ける
本体にクロスが貼り付き、クロス
剥がれの原因となります。

照明器具本体への付属パッキン大/小の貼り付け手順

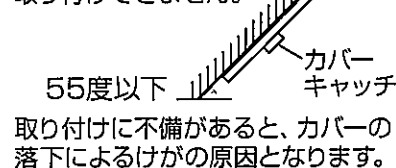
①防虫用器具凸部全周に、パッキン大の台紙を剥がしながら貼り付ける。
（余った分はカットする）

（器具タイプにより凸部の形状が違うものがあります。）

②器具姿勢安定用凸部に、
パッキン小の台紙を剥がし貼り付ける。

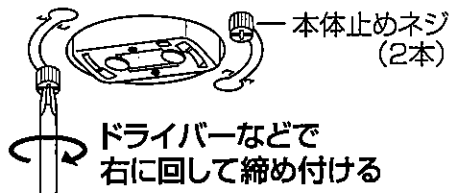
●パッキン小を貼り付ける。
パッキン小
貼る
台紙を
剥がす
器具姿勢
安定用凸部

●器具タイプで凸部の数が違います。
全ての凸部に貼り付けてください。

3 本体を取り付ける

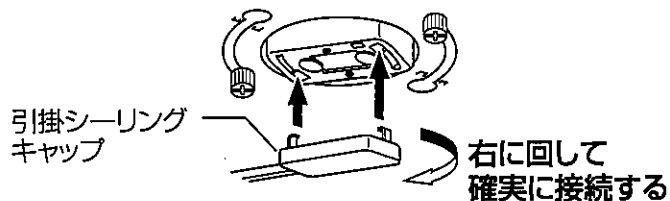
◎取り付けの際、ランプを持たないでください。

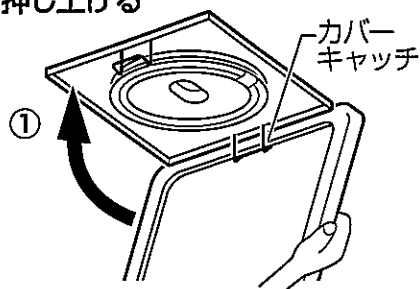
①本体止めネジとダルマ穴を合わせて押し上げる
②本体を右に回す

55度以下の斜め天井に
取り付ける場合
カバーキャッチが傾斜と直角方向に
なるように本体を取り付けてください。
55度を超える天井には
取り付けできません。

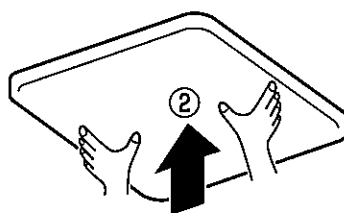
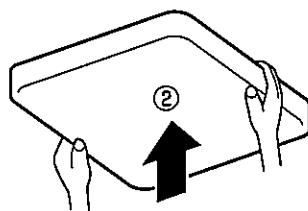
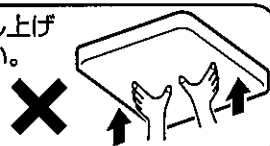
55度以下
カバー
キャッチ

取り付けに不備があると、カバーの
落下によるけがの原因となります。

（次ページにつづく）

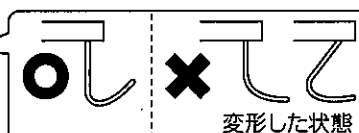
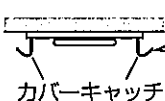
4 本体止めネジ（2本）を締め付ける

確認
- 取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。
- 本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

5 引掛シーリングキャップを接続する

6 カバーを取り付ける

①カバーをカバーキャッチに引っ掛け、押し上げる

②本体とのすき間がないように、カバーを両手でしっかり押し付ける

HFA6176, HFA6176L
HFA6570, HFA6570N の場合

HFA6510, HFA6510N の場合

⚠ 注意

- **カバーは確実に取り付ける**
  落下してけがの原因となることがあります。

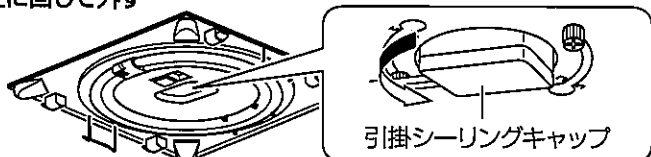
- **カバーキャッチに無理な力をかけない**
  カバーキャッチが変形し、カバーが落下してけがの原因となることがあります。

確認

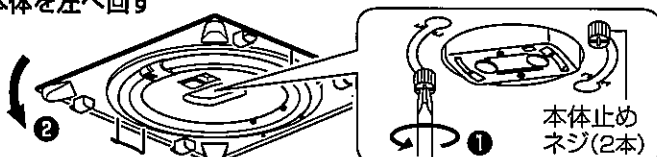
バランスを見て、カバーが水平に取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合はカバーを引き下げて取り外し、再度、6 を行う。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

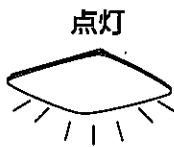
①引掛シーリングキャップを外す

引掛シーリングキャップを
左に回して外す

②本体を外す

❶本体を支えながら本体止めネジ(2本)をゆるめる
❷本体を左へ回す

あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

壁スイッチ ON　点灯

壁スイッチ OFF　消灯

記憶している前回の「消灯前の明るさ」で点灯します

今回の「消灯前の明るさ」を記憶して消灯します

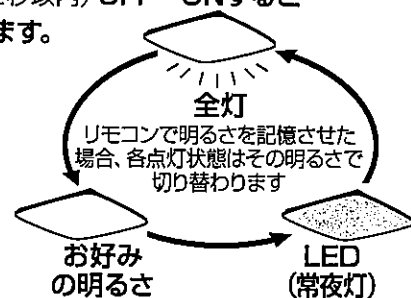
●全灯ボタンで点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は記憶されません。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。

カチッ　カチッ

全灯　リモコンで明るさを記憶させた場合、各点灯状態はその明るさで切り替わります

お好みの明るさ　LED(常夜灯)

●壁スイッチ１個で２台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコン(別売)で照明器具を操作する　壁スイッチはONの状態にしてください。

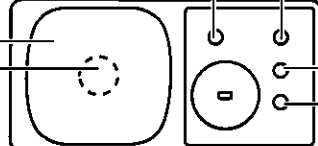
別売のリモコンで、照明器具の操作ができ、蛍光灯、LEDの明るさが変えられます。
機種によりタイマーの機能があります。

HK9327K
●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能

HK9470
●タイマー機能
●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能
●LED手元灯付き

リモコン受信器(本体)

LED

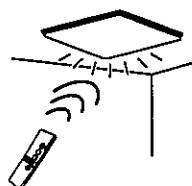
リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

リセットスイッチ
動作が異常の場合の初期化などに使用
各種設定を出荷時の初期設定に戻せます。

音切入設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

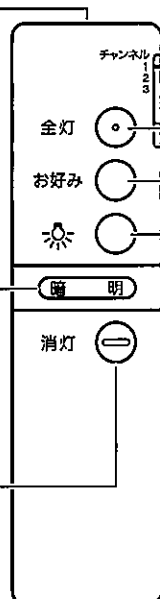
OFF/ONスイッチ
押すごとに消灯/全灯

リモコン(別売)　(例)HK9327K の場合

送信のしかた
必ず「リモコン送信部」を器具に向けて操作してください。

リモコン送信部
※傷つけたり、汚したりしないでください。

明暗ボタン
蛍光灯(100〜約10%) LED(6段階)の明るさを調整
☞8ページ「蛍光灯、LED(常夜灯)を調光し明るさを記憶させる」参照

消灯ボタン

チャンネル 1 2 3　全灯　お好み　明　暗　消灯

チャンネルスイッチ
操作する器具のチャンネル(1〜3)を設定
☞8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

全灯ボタン
蛍光灯が100%の明るさで点灯
☞8ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

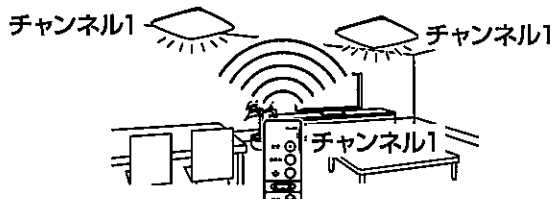
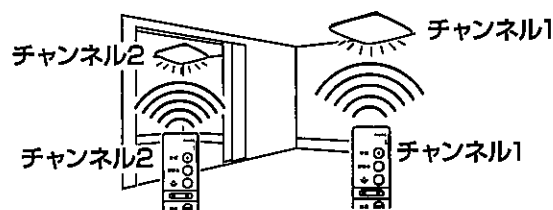
お好みの明るさボタン
蛍光灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定:約60%の明るさ)
※明暗ボタンで100%に変更した場合は全灯と同じ明るさで点灯します

LED(常夜灯)ボタン
LEDが明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定:100%の明るさ)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

●複数の器具を同時に点灯できます。
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。
(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合

●近くの器具を別々に点灯できます。
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合

① チャンネル設定スイッチ
リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す

② リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例:チャンネル2)

③ リモコンのいずれかのボタンを押す
→「ピピーッ」と音がして設定完了

蛍光灯、LED (常夜灯) を調光し明るさを記憶させる

① リモコンの「お好みの明るさボタン」を押す
② リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する→記憶

① リモコンの「LED (常夜灯) ボタン」を押す
② リモコンの「明暗ボタン」でLED (常夜灯) の明るさを調節する→記憶

●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●「全灯ボタン」で点灯させた後に「明暗ボタン」で明るさを調節しても記憶されません。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを
100～約10%の範囲で設定することができます。

① リモコンの「全灯ボタン」を押す
② リモコン受信器(本体)の「OFF/ONスイッチ」を「ピッ」と音がするまで押し続ける
③ リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する
④ リモコンの「全灯ボタン」を押す
→「ピピーッ」と音がして変更完了

お手入れ・ランプ交換　電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

（確認）シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

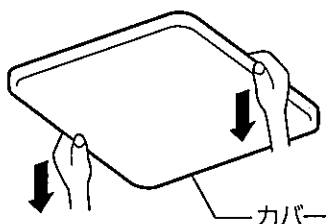
●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。ランプを交換してください。

●パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。

ランプの交換方法

①カバーを外す

カバーを片側ずつ引き下げる

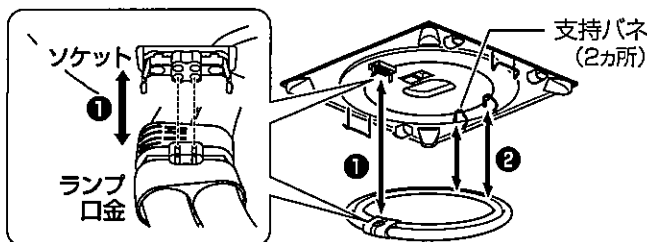
⚠注意

カバーキャッチにカバーを吊り下げたままランプ交換をしない

禁止　カバー落下によるケガの原因となることがあります。

②古いランプを取り外す

❶ランプ口金側を外す
❷支持バネ側を外す

③新しいランプを取り付ける

❶ランプ口金を確実にソケットに差し込む
❷支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

☞ 6ページ「照明器具を取り付ける」手順 6 参照

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。

●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。
また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。

●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。

●壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
（本体のリモコン受信器の「OFF/ONスイッチ」を押せば消灯/全灯は可能）

●壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。

●低誘虫（虫がよってこない）機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【　周囲の影響　】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。

●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	9ページ「ランプの交換方法」
	ランプが切れている	ランプを交換する	
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	7ページ「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	お使いのリモコンの取扱説明書
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する	8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り再度入れる
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③器具のチャンネルを変更する　8ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中) にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

☑保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力	ランプ
□ HFA6176 / HFA6176L	AC100 V	50/60Hz 共用	62W (リモコンOFF時 1W以下)	70形ツインパルックプレミア蛍光灯
□ HFA6570 / HFA6570N				
□ HFA6510 / HFA6510N				

●ランプの光色はランプをご参照ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは…
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　）ー
お買い上げ日　　年　　月　　日

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。
＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…
まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名　住宅用照明器具
●品　　　番　上記「仕様」をご参照ください。
●故障の状況　できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については3年間です。
またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品 (製品の機能を維持するための部品) を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

HFA6176-T3A5　N0308-050812